

令和2年10月26日

舞鶴市議会議長 上羽 和幸 様

総務消防委員会
委員長 上野 修身

第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の点検評価結果について

第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の点検評価を実施しましたので、別紙により、その結果を報告します。

総務消防委員会における点検評価の結果
(委員会としての意見)

1 鉄道、路線バス及び自主運行バスの運行の支援

[第1編 第2章 第1節 第2項 1-①]

交通事業者への支援は、公共交通の維持・確保のために必要な取組であり、計画に沿って継続的に実施されていることを評価する。

金銭面の支援のみならず、市民ニーズを踏まえた公共交通のあり方を交通事業者とともに検討し、支援することが必要であると考えます。

2 市民、交通事業者及び行政の連携による公共交通の利用促進

[第1編 第2章 第1節 第2項 1-③]

取組内容として記載されている事項が着実に実施されていることを評価する。

令和元年度の数値目標が達成できていないことについては、新型コロナウイルス感染症の影響等によるものと理解するが、これまでと同様の取組に留まることなく、公共交通利用者数の増加に取り組まれない。

3 持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークのあり方の検討

[第1編 第2章 第1節 第2項 1-④]

ICT等を活用した新たな交通システムの構築に向けた具体的な取組として「舞鶴市共生型 MaaS “meemo”」が動き出したことを評価する。

新たな取組であることから、課題はあるものと考えますが、それらを利用者の声も踏まえて整理し、持続可能なシステムとしての実用化に向けて取り組まれない。

4 自主防災組織等の育成・支援

[第1編 第2章 第2節 第4項 3-①]

積極的なアプローチと地域へ出向いての働きかけなどにより、自主防災組織が新たに組織されていることを評価する。

自主防災組織の充実に努めることが市町村の責務とされていることに鑑み、課題解決を含めた粘り強い対応により、未組織の地域における設立とリーダーの育成を図られたい。

5 地域防災力の向上

[第1編 第2章 第2節 第4項 3-②]

地域防災計画の策定には至っていないものの、地域の災害特性に合わせたタイムライン作成の説明会の実施などに着実に取り組まれていることを評価する。

地域防災計画のモデルとなる自主防災組織等を他地域へ周知し、計画策定の数値目標の達成に向けて取組を加速されたい。

第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の点検評価項目

【総務消防委員会】

編・章・節	点 検 評 価 項 目
1・2・1	第2項 住み続けたいまちを支える生活基盤づくり 1 使いやすい公共交通ネットワーク確保及び利用促進 ① 鉄道、路線バス及び自主運行バスの運行の支援 ③ 市民、交通事業者及び行政の連携による公共交通の利用促進 ④ 持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークのあり方の検討
1・2・2	第4項 地域防災力の強化・向上 3 自助・共助・公助による市民防災力の向上 ① 自主防災組織等の育成・支援 ② 地域防災力の向上